

図書館サービス計画(案)に係るパブリックコメントの結果について

北名古屋市教育委員会では、「図書館サービス計画(案)」に関し、令和4年4月1日(金)から令和4年4月30日(土)までご意見を募集したところ、14件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見の概要と、それに対する北名古屋市教育委員会の考え方について、以下のとおり取りまとめました。なお、いただいたご意見は、一部要約して記載しています。

今回、ご意見をお寄せいただきました方々のご協力に厚くお礼申し上げます。

| No. | いただいたご意見 | 教育委員会の考え方 |
|-----|--|---|
| 1 | <p>図書館が、これからも市民が文化的な潤いのある生活をする場として、より充実していくことを希望している。新たなサービス計画が実現することを期待している。「まちじゅう図書館」構想の実現、「まちに図書があふれるプロジェクト」がよりよいものになってほしい。</p> <p>児童館、もえの丘、回想法センター、憩いの家、高齢者活動センター、きらり、陽だまりハウスにミニ図書館を置く。旧西図書館跡にもぜひお願いしたい。</p> | <p>サービス計画のなかで「図書館は、人々が豊かで創造的な生涯を送る助けとなる図書資料を収集・保存・提供する場です。」としており、ご意見のとおり図書館が「文化的な潤いのある生活」を提供する場として考えています。</p> <p>「まちに図書があふれるプロジェクト」では、「読書を通じた交流やつながりを広げる。」をテーマに児童館を軸とし、民間事業所による図書の配架も想定し、図書を媒介としてコミュニティを形成していくプロジェクトが進められています。この事業は市民の手により本を暮らしの中に配架し、まちづくりにつなげる事業としてNPOなどと連携して事業の活性化を図ります。</p> |
| 2 | <p>アンケート調査で来館目的の60%超が「借りる・返す」なので、「まちじゅう図書館」構想によるミニ図書館</p> | <p>児童館を中心とした「まちに図書があふれるプロジェクト」では貸出・返却が可能となる予定です。</p> |

| | | |
|---|---|--|
| | では本をおいて読むだけではなく、貸出・返却ができるようにしてほしい。 | |
| 3 | 図書館利用者が減っている。コロナの影響が大きいと思うが、西図書館閉鎖による影響もしっかり調査、把握し、より市民の文化的水準を高めるよう力を尽くしていただきたい。 | コロナ禍以前、コロナ禍、統合後と利用状況の変化を分析するとともに、利用者からのニーズを把握し、年度ごとに策定する具体的なサービス計画の展開に反映させていく考えです。 |
| 4 | 資料の受け取り箇所の増設について、きらり、回想法センター、陽だまりハウス、児童館、もえの丘などへ増設する。西春駅前防犯センターを図書館、市内観光案内など多目的化する。 | 予約本受取窓口(サービスポイント)の増設については、名古屋芸術大学アートスクエアに設置した予約本受取窓口の利用状況などを分析し、5-(1)-アにおいて、予約本受取窓口は「今後も利用者が増加するよう周知に努めるとともに、資料の受け取り箇所の増設について研究します。」とさせていただいており、利用状況、ニーズなどを注視していきます。また、西春駅前防犯センターは、防犯団体などの活動拠点や警察官の立寄所として、防犯を目的とした施設のため、多目的化については、関係部署と協議し、研究していきます。 |
| | サービスポイント(予約本受取窓口)は名古屋芸術大学アートスクエア(文化勤労会館)のみですが、西庁舎や児童センターきらりなど増やしてほしい。 | |
| 5 | ボランティアについて、本の貸出・返却にも連携を図る。 | 現在のボランティアは、読書活動を生涯学習として取り入れている団体により図書館が行う事業の支援をお願いしています。今後は、図書館事業に直接かかわるボランティアについて研究していきます。 |

| | | |
|---|---|--|
| 6 | 地域資料の充実について、地域の人の発行した本や地域で活躍した人の本を大切にしてほしい。 | 5-(1)-エにおいて、地域の情報を収集し、提供することは、図書館としての重要な役割となっています。今後も地域情報の収集・整理・提供する場の整備等を計画します。 |
| 7 | 冒頭の図書館サービスの説明で、効率化という言葉に違和感を感じる。図書館は”文化”のとりで、ゆとり、心の寄りどころです。先人の生き方、知恵など学ぶ場ではないでしょうか。今、何でも効率が優先されて、ぎすぎすしていると思います。ここでその言葉は使ってほしくはないです。 | 典拠には効率的の説明として「資源の活かし方を定期的に見直し、最善の手法でサービスが実施できているかを確認」とあり、効果を上げるために最善の手法を用い、サービスの根幹となる「資源」をより有効に活用するという事になります。ご意見を踏まえ、引用した文献の説明字句にあたる「資源の活かし方を定期的に見直し、最善の手法でサービス」を説明として追記します。 |
| 8 | スキーム、デジタルコンテンツ、ブラウジングスペース、ラストワン・プロジェクトなど、年寄りにとってカタカナ文字がどこでも増えて、置いてきぼりにされているように感じる。 | 固有名詞は、そのままの表記となっています。ご意見を踏まえ、専門用語などについて、文末に注釈を付記します。 |
| 9 | 平成26年4月から毎年開催していた「子ども読書の日」記念事業—図書館は玉手箱！—について、いつ、どこで、どのような事をしているのですか。 | 「子どもの読書活動の推進に関する法律」により定められた「子ども読書の日（4月23日）」及び「こどもの読書週間（4月23日～5月12日）」に関連し、記念事業として歴史民俗資料館と連携し、4月下旬に開催していました。内容は、子ども司書体験、お話会、紙芝居会などですが、現在は、コロナ禍により中止しています。 |

| | | |
|----|---|---|
| 10 | <p>西図書館がなくなり、サービスポイント(予約本受取窓口)になって、一番困っているのは、北名古屋市図書館にない本を他の図書館から取り寄せる場合です。①まず北名古屋市図書館に申込みに行き(サービスポイントで調べて所蔵していない時)、②貸出の連絡をもらったら、取り置き期限までに取りに行き、③本を返却期限までに戻しに行く必要がありますが、時間の余裕がないと行けません。また、車、自転車に乗れなくなったら行けません。文化勤労会館(サービスポイント)には職員がいます。ぜひ、他の図書館にある本の貸出業務ができるようにしてほしい。</p> | <p>他の図書館から取り寄せ貸出する事業は「相互貸借」と呼ばれており、広域連携によるサービスとなります。この事業に基づく貸出・返却は、他館の資料を扱うため慎重かつ状態の確認などを厳密に行うなどの対応を図っています。今後も他館との信頼関係に基づく円滑な相互貸借を継続するため、図書館の窓口のみの対応としていますので、ご理解いただきたいと考えます。</p> |
| 11 | <p>昭和30年代に北名古屋地域が農村から住宅地が変わっていった様子を全面的に記録し、文物を保存していくことを望む。</p> <p>(例)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自治会ごとに保存している文書類を承諾を得て、市が保存管理する。 2. 大字単位で行われた祭礼の時の道行、かぐらなどを録音する。 3. 地域に散在している道しるべ、地蔵さん、石碑などを写真にとり、保存していく。 4. 年中行事にどんなものがあったかを古老に聞き、記録する。 | <p>5-(1)-エにおいて、「本市の郷土に関する情報は、「昭和日常博物館(歴史民俗資料館)」及び図書館の郷土資料として多岐にわたって蓄積されています。今後も地域情報の収集・整理・提供する場の整備等を計画します。」としており、年中行事などの記録は西春町史、師勝町史、その他郷土史刊行物として記録し、生活用品などの収集、保存、展示については歴史民俗資料館において収集・展示を行っています。また、記録にない情報、未収集の資料については持続的に収集していきます。</p> <p>自治会ごとの文書類についての保</p> |

| | | |
|-----------|--|---|
| | <p>5. 生活用品、農機具を収集し、保存する。</p> | <p>存管理などについては関係部署と協議し、研究していきます。</p> |
| <p>12</p> | <p>・スターバックスなどのカフェを併設(誘致)し、集客を図る</p> <p>・デジタル図書の導入</p> <p>・蔦屋など民間業者へ委託</p> <p>・周辺市町と連携して相互での貸出を可能とする</p> <p>・貸出は予約のみとして人件費など削減</p> <p>現在の収支が不明なため、拡大策なのか縮小策として意見を求められているのか判断がつかないが、北名古屋市の財政を考えれば、縮小とならざるをえない。そのため不便となるが、閉鎖という方向も検討すべきである。</p> | <p>カフェの併設については、1の「(2) アンケートによるニーズ把握」において、平成28年度の調査では、当時から図書館内にカフェを併設するといったサービスが人気を博していたことから、同種のサービスへの期待を問いにしたところ、「期待する」は39.5%、「期待しない」が57.0%となり、自由記述にも図書館の閲覧席と飲食は両立しないとの意見が多数見られました。今後も、ニーズを注視するとともに業務の適正化を図っていきます。</p> <p>デジタル図書の導入については、5-(1)-アにおいて、「愛知県図書館などが実施している電子書籍サービスの利用促進及び電子書籍の導入について研究します。」とし、現在、愛知県図書館などの電子書籍の活用を案内しています。</p> <p>相互の貸出は平成3年から実施しており、現在、年間約1,000冊を他の図書館からの相互貸借により資料提供を行っています。</p> <p>貸出は予約のみとして人件費など削減することについては、図書館利用者を見ると開架書架をブラウジングして図書との出会いを楽しむというスタイルが定着しています。アンケー</p> |

| | | |
|----|--|---|
| | | <p>ト調査、利用実績などのデータからも館内で本や雑誌・新聞などを読むといった図書館サービスの機能については高いニーズがあることや、閲覧をしながら本を借りるといった利用形態が多いことから、貸出を予約のみとすることは考えていません。</p> <p>図書館閉鎖という方向も検討すべきとのご意見については、図書館は市民にとって重要な社会教育施設であり、完全に廃止することは考えていません。統合した図書館により、サービスを再編し、運営の適正化を図り、ニーズに沿ったサービスを持続性をもって提供していきます。</p> |
| 13 | <p>「1-(4) 利用状況の変化」について、利用登録者、貸出冊数の減少について、要因としてインターネット、スマートフォン等の普及等を挙げておられますが、北名古屋市図書館の魅力そのものが乏しいのではないのでしょうか。近隣の、例えば清須市立図書館と比較すると、蔵書数はあまり差がないのに、開架に出ている冊数があまりに違うと思います。利用者は、書庫に入っている図書を利用するには、検索して目的のものを見つけるしかなく、書架を見ている時に目にとまって……。といった借り方はできません。最近ではコロナの影響でしょうか、特に絵本が少なくなったように感</p> | <p>広報活動の推進については、5-(1)-オにおいて、「広報北名古屋、地域紙を活用し、図書館サービスや事業の広報に努めます。」とし、「図書館×昭和日常博物館 Selection・Column」として図書館・歴史民俗資料館で隔月担当とし、図書の紹介や図書館事業等の掲載を行ってきました。今後も毎月より詳しい情報の発信に努めていきます。</p> <p>また、図書館、もしくは昭和日常博物館を移転し、開架書架を拡張することについては、今後も昭和日常博物館と連携し、魅力ある図書館づくりに努めていきます。</p> |

| | | |
|----|--|---|
| | <p>じます。図書館は、「こんなにたくさん、おもしろい、役に立つ本があるよ」と見せられることも重要だと思います。北名古屋市図書館(旧東図書館)は、それをかなえるには手狭すぎます。移転するか、昭和日常博物館(歴史民俗資料館)を移転し、図書館、特に開架書架のスペースをもっと広く取ってほしい。</p> | |
| 14 | <p>「5-(2)-イ 環境の整備」について、児童向けの読み物と絵本について、出版社別ではなく、タイトル順もしくは著者アイウエオ順にしてほしい。子ども(幼児や児童)が本を借りる時、出版社順ではあまりに分かりにくいです。気に入った作者の他の本を探すことも困難ですし、子どもにとっては、一体どんな順序で並んでいるかもよくわからないと思います。(棚に表示されている分類表示も「小峰書店」「偕成社」などと、ふりがなさえふっていないので、親としても探し方を教えることさえできません。)</p> <p>「この出版社の本を借りよう！」という利用の仕方は、あまり一般的ではないと思われます。早急な改善を待ち望んでいます。</p> | <p>児童書コーナーについては、まず、絵本はサイズが多様なことから、「出版社名順」に排架することにより同じサイズ・装丁の本が揃って並ぶため、書架での配置が安定します。また、文学作品につきましては、シリーズでの出版も多いことから、「出版社名順」ごとに排架することにより、よく利用されるシリーズ本を別に排架することなく探しやすくなる利点などがあります。こうした点から、児童書コーナーにつきましては統一を図り、「出版社名順」とさせていただいています。</p> <p>この配置を行うことで、整然とした環境の中で子どもたちに本を選んでいただけることとなり、本館の特色とさせていただきます。</p> |